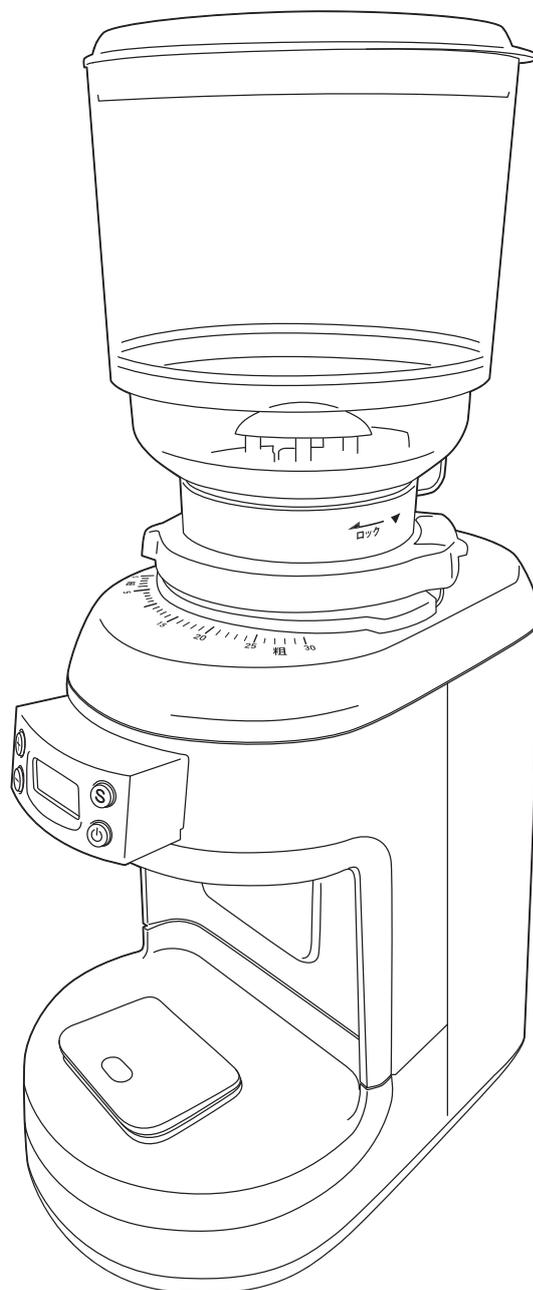


コーヒーグラインダー
自動計量機能付

BM-450

取扱説明書 (保証書一体)



このたびは BONMAC BM-450 コーヒーグラインダーをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかりやすい場所に大切に保管してください。

この商品を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。

* For use in Japan only.

目 次

	頁
● 安全上の注意事項	1
● 各部の名称	2
● 操作方法	3
● 清掃	4
● 故障診断・仕様	5
● 保証書	裏表紙

安全上の注意事項

あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を2つに区分しています



警告： 死亡や重傷を負うおそれがある内容



注意： 軽傷を負うおそれや物的損害が発生するおそれがある内容

- お守りいただく内容を図記号で説明しています



してはいけない「**禁止**」の内容



必ず実行していただく「**強制**」の内容



警告

- 電源コードやさし込みプラグの取り扱いに注意してください



- 定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
・他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。(発火・火災の原因)
・延長コードも定格 15A 以上のものを単独で使用してください。

- さし込みプラグは根元まで確実にコンセントにさし込む
(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- さし込みプラグに付いたほこりなどは、定期的に取り除く
・湿気などで絶縁不良となります。(絶縁不良による発火・火災の原因)
→ さし込みプラグを乾いた布で拭いてください。



- ぬれた手でさし込みプラグを抜きさししない
(感電の原因)



- 電源コードやさし込みプラグを破損するようなことはしない
・傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- 電源コードやさし込みプラグが傷んでいたり、コンセントへのさし込みが緩いときは使用しない
(感電・ショートによる発火・火災の原因)

- 事故を避けるために守ってください



- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
(やけど・感電・けがの原因)



- 分解・修理・改造はしない
(火災・感電・けがの原因)



- 水につけたり、水をかけたりしない
(感電・ショートによる発火の原因)



- 異常・故障時にはただちに使用を中止し、さし込みプラグをコンセントから抜く
(発煙・発火・感電・やけど・けがのおそれ)

< 異常・故障例 >

- ・電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や、変色、損傷している。
- ・電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い。
- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする。
- ・動作中に本体から異常な音がする。

安全上の注意事項



注意

● 以下のような場所では使わないでください



- 振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。
- 屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。
- 高熱を発生する機械の周辺などでは使用しないでください。

● さし込みプラグの取り扱いに注意してください



- さし込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ずさし込みプラグを持って引き抜く
(感電・ショートによる発火の原因)



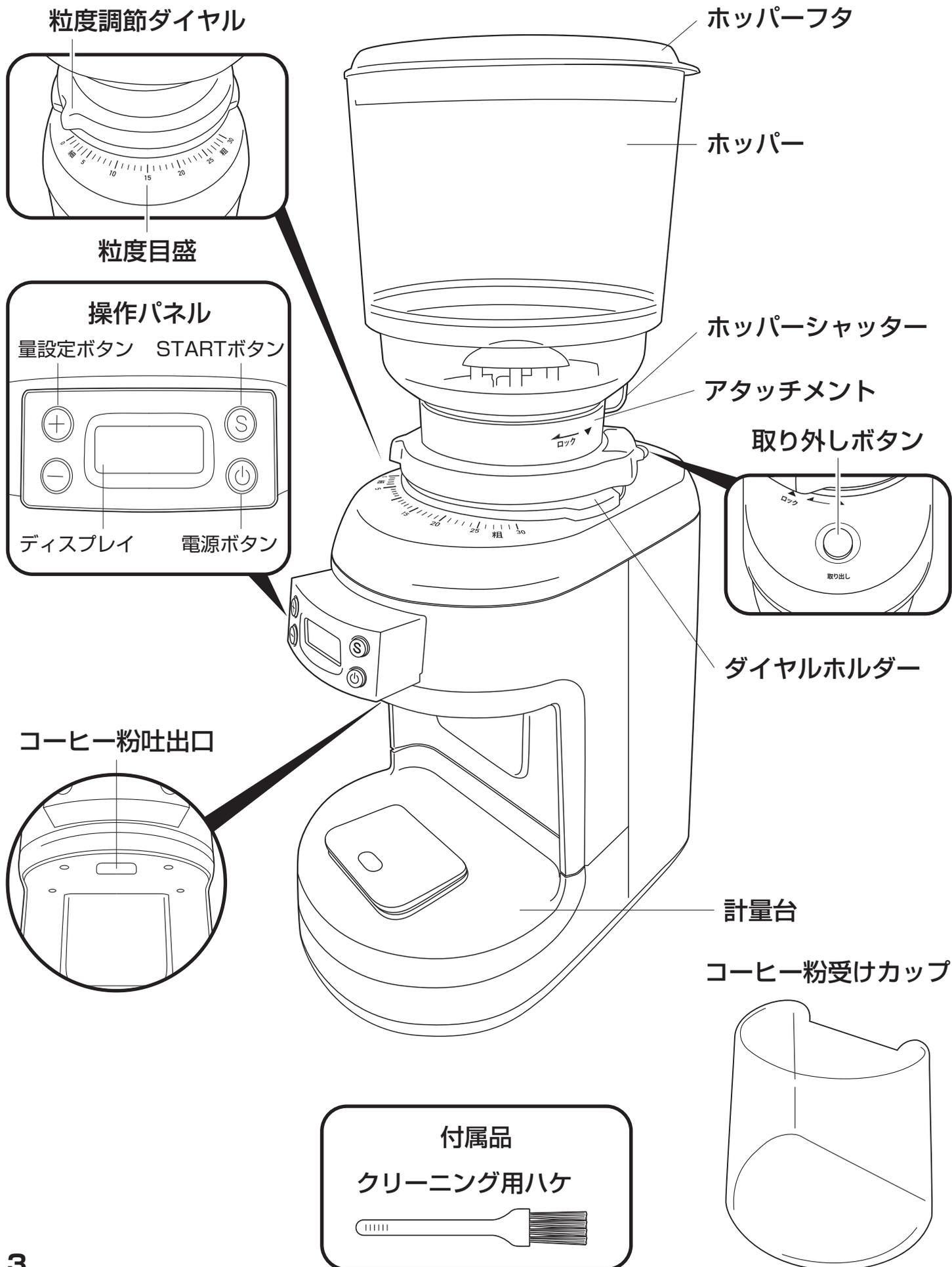
- 使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因)
- 部品の取り付け・取り外し・お手入れのときは、さし込みプラグをコンセントから抜く
(けがの原因)

● けがに注意してください



- 運転中、ホッパー内に手を入れないでください。
- コーヒー粉吐出口に指や異物を入れないでください。
- コーヒー粉砕の目的以外に使用しないでください。

各部の名称



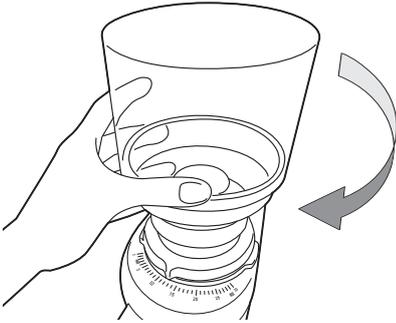
操作方法

操作方法

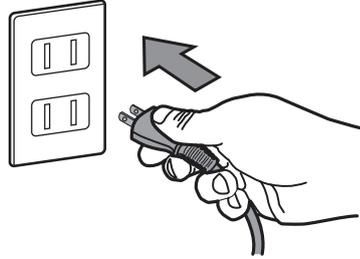


本機は精密計量機器ですので、設置する際は必ず安定した平行な台に置いてください。

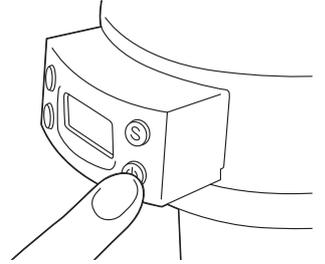
- 1** アタッチメントの▼とダイヤルホルダー上面の▲を合わせ、ホッパーを差し込み、右に回して取り付ける。



- 2** プラグをコンセントに差し込む。

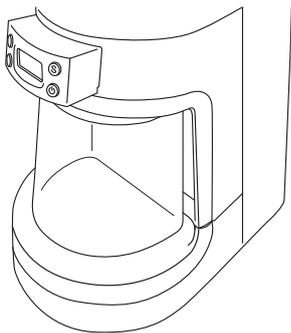


- 3** 電源ボタンを押し、電源をONにする。



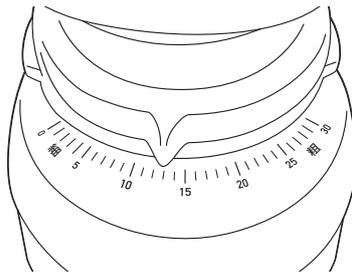
ディスプレイには標準量10gが表示されます。

- 4** 計量台にコーヒー粉受けカップがあることを確認する。



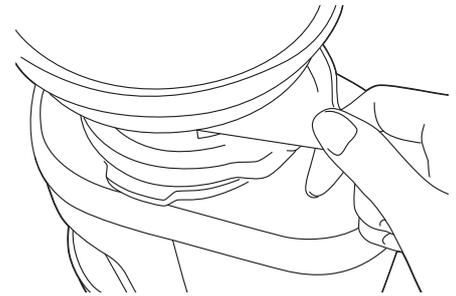
専用のコーヒー粉受けカップ以外は使用しないでください。

- 5** 粒度調整ダイヤルを希望の粒度に合わせる。

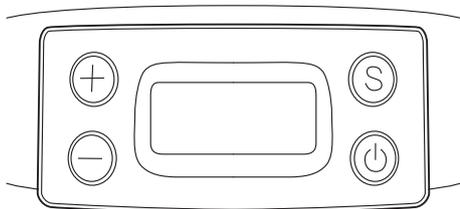


数字が大きくなれば粗く、小さくなれば細くなります。

- 6** ホッパーシャッターを閉じ、コーヒー豆をホッパーに投入する。次にホッパーシャッターを開け、コーヒー豆を下に投下する。



- 7** ●粉量を設定する場合
+または-ボタンを押し、必要粉量を表示してください。
Sボタンを押すとグラインドが始まります。



設定量までグラインドが完了すると自動的に停止します。

- 粉量を設定しない場合
Sボタンを3秒以上長押ししてください。

押し続けている間はグラインドを続けます。長押しを中止するとグラインドは停止します。長押しは30秒までとしてください。(約50g)



注意

本機で表示されるグラム数は、あくまで目安の数値となります。表示されるグラム数での販売(量り売り)はできませんのでご注意ください。

- ・+と-の量設定ボタンは1押しで1g変化します。
- ・一度設定した粉量はメモリーしますが、電源コードを抜いた場合はリセットされて10gとなります。
- ・ディスプレイ表示部は動作を終了してから60分後に消灯します。再度、操作を行うと点灯します。
- ・設定できる粉量は5g~100gとなります。
- ・グラインド中にホッパー内のコーヒー豆がなくなると、グラインドは15秒後に自動的に止まります。

清掃

清掃

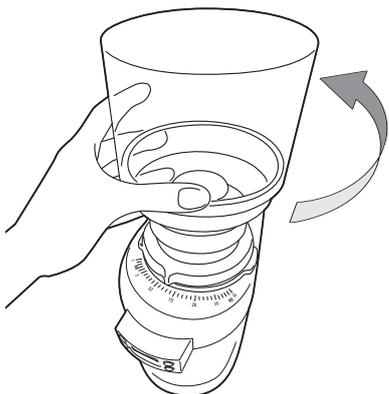
- ※さし込みプラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷めてから行ってください。
- ※台所用中性洗剤を使用する時は、薄めて使用してください。
- ※食器洗い乾燥機、食器乾燥機、熱湯は使用しないでください。(変形や故障の原因になります)
- ※漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコールは使用しないでください。(割れや変色・印刷のはがれなどの原因になります)
- ※磨き粉・たわし・スポンジの硬いナイロン面は使用しないでください。(表面が傷つきます)

油分を含んだコーヒーかすが残っていると悪臭のもとになり、コーヒーの風味を損ないます。豆づまりの原因ともなりますので、毎日の業務終了時にはホッパーを外し、ホッパー、コーヒー粉受けカップ、計量台を付属のクリーニング用ハケかきれいな布で油分を含んだコーヒーかすを拭き取ってください。また、湿った布で本体も拭いてください。

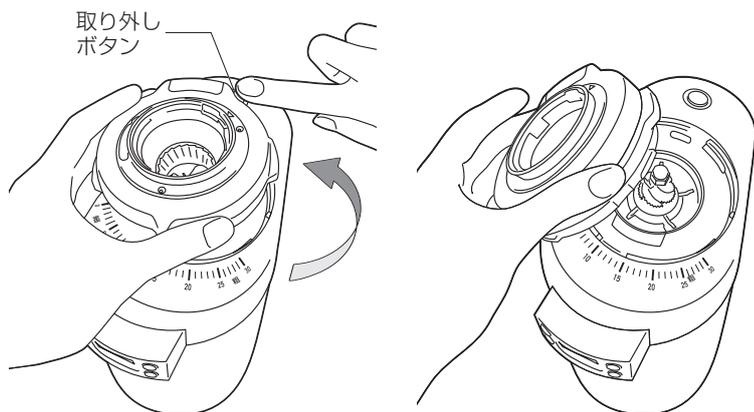
ダイヤルホルダー内部掃除

取り外し

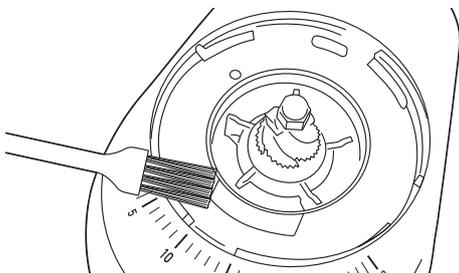
- 1** ホッパーシャッターを閉め、ホッパーを左に回し、外す。



- 2** 取り外しボタンを押しながら、ダイヤルホルダーを左に回し外す。



- 3** 付属のクリーニング用ハケを使い、コーヒー粉を掃除する。



コーヒー粉吐出口についてもあわせて掃除する。



取り付け

- 1** 本体の▲とダイヤルホルダー側面の▼を合わせ、右に回転させて取り付ける。取り外しボタンがカチッと音がするまで回転させる。

- 2** アタッチメントの▼とダイヤルホルダー上面の▲を合わせ、ホッパーを差し込み、右に回して取り付ける。

故障診断、仕様

故障診断

故障した場合、または異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、販売店に連絡のうえ、その指示に従ってください。

修理を依頼される場合、次の事柄をご確認のうえ、ご連絡ください

発生日時、発生時の状況（どのような時に発生したか）、具体的な症状

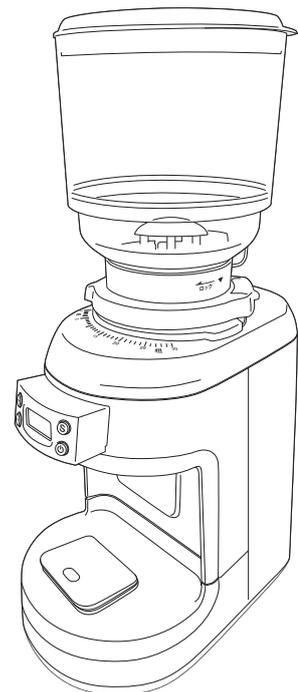
また、修理を依頼される前に、次の症状をご確認ください

故障症状	確認事項	処 置
電源が入らない	電源プラグが抜けていないか 元電源（配電函のスイッチ）や ブレーカーが切れていないか 電源コードが破損していないか	電源プラグをしっかりと差し込む 元電源を入れる 頻繁に切れる場合は修理点検依頼 電源コードが破損している場合は 修理を依頼
グラインドできない	ホッパー内にコーヒー豆はあるか ホッパーシャッターは開いているか	ホッパー内にコーヒー豆を補充する ホッパーシャッターを開ける
グラインドされた コーヒー粉が 出てこない	コーヒー粉吐出口が つまっていないか	コーヒー粉吐出口を クリーニング用ハケで掃除する。 ダイヤルホルダー内部を掃除する

仕様

	BONMAC コーヒーグラインダー
モデル	BM-450
外形寸法 (mm)	幅 141 / 奥行 239 / 高さ 410
質量	(約) 3.3kg (ホッパー含む)
ホッパー容量	(約) 500g
電源	単相交流 100V 50/60Hz
消費電力	100W
グラインド能力	(約) 120-180g/min
定格動作時間	5分
計量器能力	ロードセル方式

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。



製品保証書

型式	BONMACコーヒーグラインダー BM-450	機番	保証期間
お客様様	お名前	様	お買い上げ日より 1年
	ご住所 〒		お買い上げ日
	電話 ()	—	* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買い上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
 - (チ) 消耗品の交換。
 - (リ) ご使用による容器の汚れ。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 商品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後5年です。

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

ラッキ-コーヒ-マシン 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部

広域営業部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467

東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723

名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市中区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677

大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660

福岡営業所 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356

福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356

20.07 RE